

hush!

ハッシュ!

橋口亮輔
監督作品

第54回カンヌ国際映画祭
監督週間正式招待作品

田辺誠一 高橋和也 片岡礼子

秋野暢子 富士真奈美 光石研 斉藤洋介 深浦加奈子 つぐみ 沢木哲 岩松了 寺田農

音楽=ホビー・マクファーリン 主題歌『Hush Little Baby』(ホビー・マクファーリン、ヨーヨー・マ)

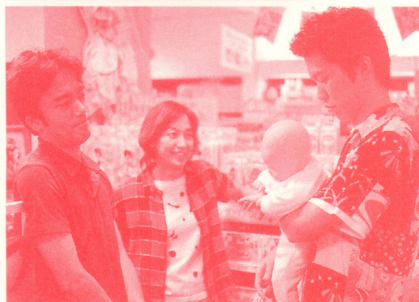
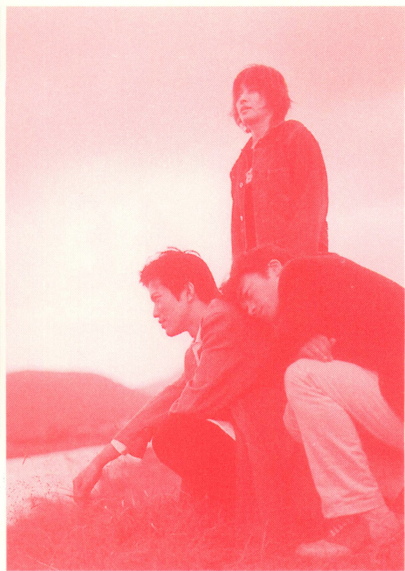
21世紀的、子作り宣言。

製作協力 (株) 南無映画 (株) ケレシムインターナショナル 芸術文化振興基金助成映画
製作・配給=シネロ、宣伝=ミラクルウオイス www.cine.co.jp
35ミリ、カラー/2時間15分、ビスタサイズ、Dolby SR、2001年シネロ作品



橋口亮輔監督作品

hush!



笑ったり、手をつないだり なにかきれいだなとか、いいなとか そういうこと、どんどん思えてきて

フランスにて大規模ロードショー決定！さらに世界各国にて公開決定！

『渚のシンドバッド』から5年。

橋口亮輔監督の新作にカンヌも揺れた！

『二十才の微熱』で鮮烈なデビューを飾り、第二作『渚のシンドバッド』では、さらに圧倒的な共感をもって迎えられた橋口亮輔監督。五年ぶりの本作は、大人への第一歩を踏みだした男女の人間模様を繊細かつコミカルに描いている。新世紀にふさわしいラブストーリーの登場である。主人公は、二人のゲイの男性と一人の女性。人は本質的に孤独であることを自覚してしまっている彼ら三人は、しかしそれでもなお、他者と共

にあることを選択する。苦さの向こうに、あきらめの先に、新たな希望があることを感じとり、あらゆる現実的な問題を克服し、新しい「家族」の可能性をさぐってゆく。

主役の三人には、『二十才の微熱』で女優デビュー以来、数々の映画で強烈な印象を残す片岡礼子、いまや映画・舞台でその演技力が高い評価を得ている高橋和也、そして、繊細な存在感が光る田辺誠一。三人三様の個性が遺憾なく発揮され、見事なアンサンブルを奏でる。さらに、秋野暢子、富士真奈美、光石研、つぐみ、沢木哲といった一筋縄ではゆかないベテランや新人たちが脇を固め、いきいきとした演技で競い合い、存在感を存分に披露している。

1本の傘からはじまり2本のスポイトを経て彼らは——!?

見ず知らずの3人を偶然が結びつける。

ペットショップで働く直也（高橋和也）は、気ままなゲイライフを送りながらも人生に何か物足りなさを感じていた。

土木研究所で働く勝裕（田辺誠一）は、ゲイであることを隠している。同僚の女性に好意を寄せられるが、それさえ拒めない優柔不断な自分を情けなく思っている。

歯科技工士の朝子（片岡礼子）は、人との関わりをアキラメたような生活を送っていた。好きでもない男とセックスして、空っぽの気持ちを誤魔化すのだった。

付き合いはじめた直也と勝裕。しかし偶然出会った朝子の出現で、彼らの平穏にいくかに見えた関係が揺れ動きはじめる。

朝子は勝裕がゲイだと知ったうえで、ある相談を持ちかけた。「結婚とか、付き合うとかではなく、子供がほしいの」と。

その朝子の決意は、直也と勝裕、そして個々の家族の心に大きな波紋を起こしていく。

そのなかで3人は、みずからの人生をどう選びとっていくか、決断するときを迎えていた。

CAST 田辺誠一 高橋和也 片岡礼子 秋野暢子 富士真奈美 光石研 斉藤洋介 深浦加奈子 つぐみ 沢木哲 岩松了 寺田農

STAFF 監督・原作・脚本・編集＝橋口亮輔 撮影＝上野彰吾 照明＝矢部一男 録音＝高橋義照 整容＝斉藤誠一 美術＝小川富美夫 装飾＝大坂和美 スクリプター＝西岡容子 衣装＝宮本まさ江 ヘアメイク＝豊川京子 俳優担当＝城戸史朗 キャスティング・プロデューサー＝上田直彦 助監督＝藤江義正 宣伝プロデューサー＝竹井正和 宣伝美術＝松本佳人 スチール＝有元伸也 プロダクション・マネージャー＝佐々木正明 制作担当＝池原健 監製＝渡辺栄二 製作＝石川富康 橋田博男 企画・製作＝山上徹二郎 製作・配給＝シグロ 宣伝＝ミラクルヴォイス

2002年 おめでた!?!? ロードショー!! (上映スケジュールは劇場にお問い合わせください)

特別前売鑑賞券
1500円 (当日一般1800円の処)
好評発売中!
劇場窓口に
お買い上げの方には
「恋のおみくじ」
さしあげます。

梅田スカイビル (空中庭園) タワーイースト4F
梅田ガーデンシネマ
06-6440-5977
www.cineplex.co.jp

各回入替制 *毎土・日・水曜日および祝日は混雑状況にかかわらず入場整理券を発行します

